

ジュニア (1994)

JUNIOR

メディア 映画

ジャンル コメディ

製作国 アメリカ

時間 110分

初公開日 1994/12/23

公開情報 U n i = U I P

【解説】

いまハリウッドでウェルメイドな映画を作ると信頼されている監督の中でも、最も独特のタッチをコメディで発揮しているI・ライトマン。彼の作品には、ジョージ・キューカーのような、ゆったりとしたリズムの、喜劇の名品を思わせるものがある。男の出産という現代的(?)なテーマを持った本作も、ドタバタはほどほどに、実際、もう少しハメを外しても良いと思うほど節度をもった映画だ。「モン・パリ」のような想像妊娠ではなく、同僚の手で実際に赤ん坊がシュワちゃんから取り上げられる。ハナから一直線の芝居しかできないシュワちゃんだが、陣痛に苦しみ、次第に母性に目覚めていく姿はとてもフェミニンで泣かされる。彼とデヴィートにまんまと卵子をくすねられるオールド・ミス of 英国人医師=E・トンプソンなど、いつもの役柄ながら、とても柔らかい演技で、やはりライトマン風味である。

【クレジット】

監督	アイヴァン・ライトマン	Ivan Reitman
製作	アイヴァン・ライトマン	Ivan Reitman
製作総指揮	ジョー・メジャック	Joe Medjuck
	ダニエル・ゴールドバーグ	Daniel Goldberg
	ビヴァリー・キャメイ	Beverly Camhe
脚本	ケヴィン・ウェイド	Kevin Wade
	クリス・コンラッド	Chris Conrad
撮影	アダム・グリーンバーグ	Adam Greenberg
作詞作曲	パティ・スミス [2]	Patty Smyth
	キャロル・ベイヤー・セイガー	Carole Bayer Sager
	ジェームズ・イングラム	James Ingram
音楽	ジェームズ・ニュートン・ハワード	James Newton Howard
出演	アーノルド・シュワルツェネッガー	Arnold Schwarzenegger
	ダニー・デヴィート	Danny DeVito
	エマ・トンプソン	Emma Thompson
	フランク・ランジェラ	Frank Langella
	パメラ・リード	Pamela Reed
	ジェームズ・エックハウス	James Eckhouse
	ウェルカー・ホワイト	Welker White
	ジュディ・コリンズ	Judy Collins